

事業の背景・目的

JR新富士駅は、岳南広域の玄関口として昭和63年に開駅し、全国各地との交流に欠かすことのできない交通結節点として、多くの方に利用されてきました。

しかしながら、開駅から約30年が経過し、バスの利用状況の変化や、一般車駐車場とタクシー乗降場における渋滞などの問題が生じてきたことから、富士山駅前広場のレイアウトを見直すことにしました。

利用者の利便性向上を図るため、路線バス乗降場のロータリー化、一般車駐車場の増設やバリアフリー化を行うとともに、バス事業者との協働によりバスロケーションシステムを導入しました。

また、富士山の玄関口である新富士駅の魅力向上を図るため、市民の花であるバラをはじめ四季折々の花を植栽しました。

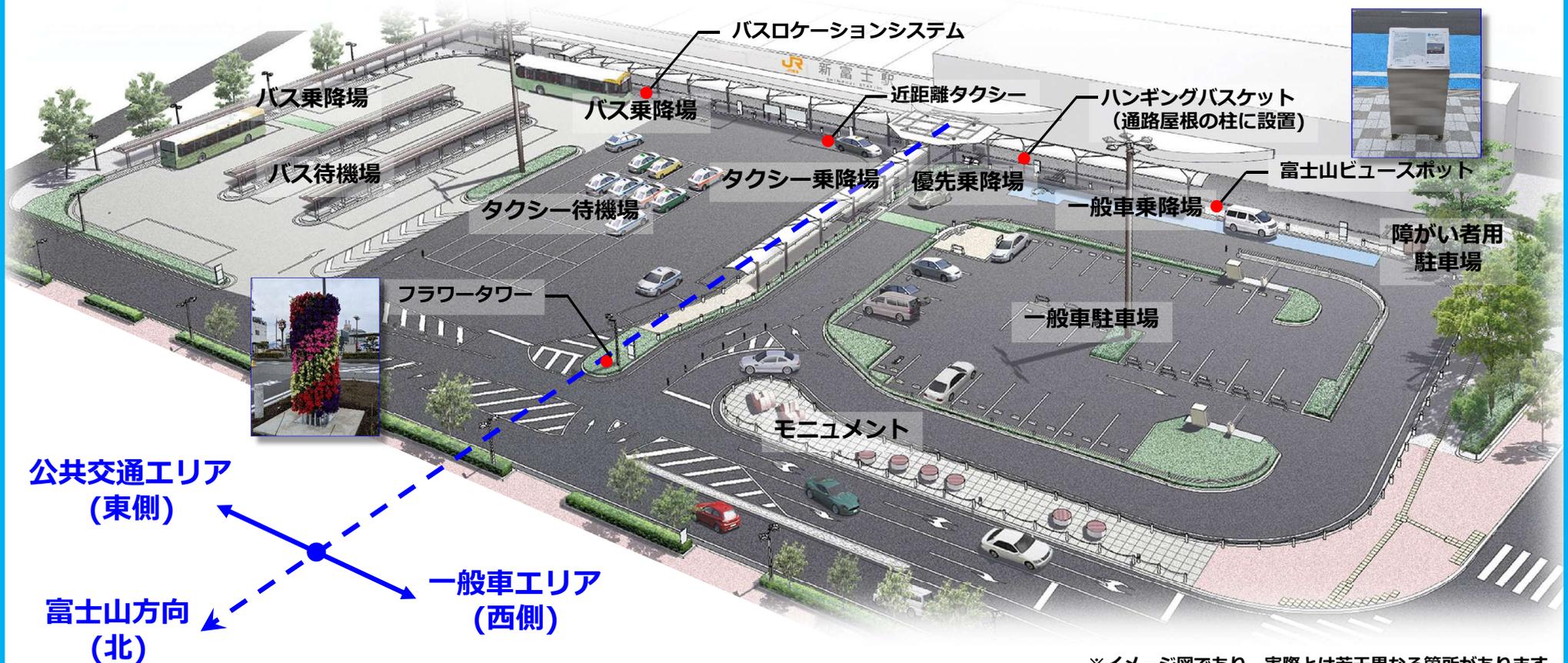
整備概要

- ・面積：約8,000㎡
- ・工期：平成29年度～平成30年度
- ・内容：①バス乗降場のロータリー化
②一般車駐車場の増設（駐車システム導入）
③バリアフリー化
④通路屋根の設置
⑤バスロケーションシステムの導入
⑥ハンギングバスケット、フラワータワーの設置
⑦富士山ビュースポットの整備

・規模 ※（ ）は整備前

項目	規模
一般車乗降場	3台（3台）
一般車駐車場	31台（22台）
優先乗降場	1台（0台）
障がい者用駐車場	1台（1台）
バス乗降場	5台（6台）
バス待機場	5台（4台）
タクシー乗降場	6台（4台）
タクシー待機場	25台（20台）

完成図



※イメージ図であり、実際とは若干異なる箇所があります。